

公益社団法人 日本経営工学会
第 34 期第 11 回理事会議事録

日 時：平成 31 年 3 月 2 日(土) 14:00～17:37

場 所：東京都市大学渋谷サテライトクラス

出席者：(理事) 石井和克, 開沼泰隆, 内田耕平, 大久保寛基, 中出康一, 西岡久充,
八木英一郎, 片岡隆之, 中島健一, 西村泰一
(監事) 河野宏和, 皆川健多郎

欠席者：(理事) 外館晃, 辻村泰寛

開会に先立ち、事前のメールでの了承を得て、協議事項 1 と 2 に関してのみ、論文誌編集委員会副委員長の西口宏美氏(東海大学)がオブザーバーとして出席することが周知された。

議決事項

1. 第 34 期第 10 回理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より、(資料：11-1)に基づき、第 34 期第 10 回理事会議事録(案)が提示され、全会一致で承認された。

2. 入会、会員権利喪失承認の件

会員担当理事より、(資料：11-2)に基づき、正会員 4 名、学生会員 10 名の入会申請、及び正会員 2 名の新年度(平成 31 年 4 月 1 日付入会)の入会申請が報告され、全会一致で承認された。また、会員資格を喪失していた元正会員 1 名から 2 年分の会費が納入されたため、希望年度から正会員として復会できることが報告され、2018 年度より復会することが全会一致で承認された。併せて会員資格喪失見込者も報告され、各理事と支部より可能な限り慰留の連絡を行うこと、及び新会員の勧誘を各理事が行うことが石井会長より要請された。

3. 名誉会員推薦候補者の件

会員担当理事より、(資料：11-3)に基づき、2 名が名誉会員推薦の条件を満たすことが報告され、名誉会員候補者として総会へ推薦することが全会一致で承認された。

4. 2019 年度通常総会開催の件

庶務担当理事より、(資料：11-4)に基づき、2019 年度通常総会の開催案が提示され、全会一致で承認された。場所が未定であるため、会長及び庶務担当理事に一任することも全会一致で承認された。場所については決定次第、速やかに代議員に告知することも確認された。

5. 2019 年度事業計画案の件

庶務担当理事より、(資料：11-5)に基づき、2019 年度事業計画案が提示され、今後微修正が入ることを前提として全会一致で承認された。

6. 国際文献社との契約更新の件

庶務担当理事より、(資料：11-6)に基づき、国際文献社との学会業務委託契約書案が提示され、今後微修正が入ることを前提として全会一致で承認された。

7. その他 なし

協議事項

1. J-Stage 投稿審査システムの導入について

オブザーバーの西口氏より、(資料：11-14)に基づき、論文誌編集委員会にて、現在 J-Stage 投稿審査システムの導入を進めており、学会会員全員の情報を投稿審査システムに登録する必要があるとの報告と会員情報提供の要請がなされた。J-Stage 投稿審査システムを提供する ATLAS 社と機密保持契約を締結すること、会員情報取得にあたり会員委員会との従前の手続きを経ることを条件に会員情報の提供が全会一致で承認された。

2. 2019 年度予算案について

財務担当理事より、(資料：11-15)に基づき、2019 年度予算案が提示された。併せて石井会長より予算案の経常費用構成比率の説明がなされた。赤字予算であることから、論文誌編集委員会、支部委員会、研究委員会、表彰委員会、企画・行事委員会にて現在の予算案を再度精査し、可能な限りの調整を行うことが依頼された。それに基づき、改めて予算案を策定し、後日メール審議を行うことが確認された。

3. 寄附金等取扱細則について

庶務担当理事より、(資料：11-7)に基づき、寄附金等取扱細則について 2 つの案が提示された。事務的負担が少ないこと、金銭を対象とすることの案が進めることが全会一致で承認され、細則の詳細については継続して審議することとなった。なお今後、受託研究等と寄附金を混同せずに分けて検討すること、必要に応じて受託研究取扱規則等を整備することも確認された。

4. 2020 年春季大会の秋田県立大学との共催について

大会担当理事より、(資料：11-16)に基づき、2020 年春季大会を秋田県立大学と共催する案が提示された。秋田県立大学に共催を申し込むことで、開催支援として最大 30 万円までの助成と学内施設の無償貸与を受けられるとの報告がなされ、全会一致で承認された。

5. APIEMS2019 について

国際渉外担当理事より、(資料：11-17)に基づき、APIEMS2019 の進捗状況(Call for Paper の原案、大会ホームページのサンプル、予算案)についての報告がなされた。併せて、大会ホームページに JIMA のロゴを掲載することが確認された。また、赤字あるいは黒字になった場合の対応やプログラム委員会の発足について、国際渉外委員会を中心に APIEMS2019 実行委員会と継続的に対応を協議することが確認された。

6. その他 なし

報告事項

1. 会員担当理事より、(資料：11-2)に基づき、退会についての報告がなされた。

2. 会員担当理事より、(資料：11-8)に基づき、会費未納者会員分析結果報告がなされた。

3. 会員担当理事より、(資料：11-9)に基づき、JIMA HP アクセス回数についての報告がなされ

た。

4. 会員担当理事より、(資料：11-18)に基づき、アクションプランについての報告がなされた。
5. 人材育成担当理事(企画・行事担当理事代理)より、(資料：11-19)に基づき、第4回産学連携研究交流会企画状況と2019年JIMA春季大会工場見学についての報告がなされた。
6. 内田副会長より、(資料：11-10)に基づき、ConCom2018活動進捗状況についての報告がなされた。
7. 国際渉外担当理事より、(資料：11-11)に基づき、協賛行事報告がなされた。
8. 庶務担当理事(論文誌編集担当理事代理)より、(資料：11-12)に基づき、掲載料・別刷代請求一覧についての報告がなされた。
9. 代表理事より業務執行状況について報告がなされた。まず石井会長から(資料：11-13)に基づき報告がなされた。開沼副会長からは、各種委員会などから提出された支出に対する承認、2019年度予算案の策定を行った旨の報告がなされた。内田副会長からは、「会員増強のそして魅力あるJIMAにするためのアクションプランリスト」のとりまとめ、JIMAホームページの調査、会費未納者の調査と督促、事務局からの問い合わせに対する対応、2月16日(土)に開催された経営工学3団体連携講演会の調整と参加、ConComとの覚書の締結、ConCom2018への参加、産学連携研究交流会分科会6への参加などを行った旨の報告がなされた。

10. その他

- 庶務担当理事より、第35期役員及び代議員選挙の経過報告がなされた。

※次回第34期第12回理事会は、平成31年5月18日(土)14:00~17:00、東京都市大学渋谷サテライトクラスにて開催する。

議 長 石井 和克 印

議事録署名人 河野 宏和 印

議事録署名人 皆川 健多郎 印